



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

## 希望記事

・年金関係について、特集をお願いします。(他同様二名)  
 ・自分の年代だと、年金の支給開始年齢が六五歳からになりますが、その場合、現在の定年(六〇歳)が徐々に六五歳まで延長となるのか、それとも再任用等其他の対応をしていただけるのか、国等の動向も踏まえて情報提供をお願いします。

今年度については、年金に絞った連載記事の計画はありませんが、単発記事などで最新情報を紹介することがあるかもしれません。来年度には抜本的な制度改正がある見込みですので、それに合わせて紹介するのが適当かと考えます。

・ただいま好評放送中！は興味深く読ませていただきました。NPOは、今後さらに地域の活性化に不可欠な存在になってくるものと思います。これからも、同様の企画を希望します。(他同様二名)

ありがとうございます。今後も本人の執筆記事も含めてさまざまな形でNPO活動を紹介できればと思います。

・人が老いる・死を迎えることの捉え方を、哲学的な観点からと宗教学的な面から解説した記事を取り上げてもらいたいです。現役就労者も、セカンドライフを生きていらっしゃる方も避けては通れない道ですから、少しでも穏やかな生き方を知るには、死と向き合う必要がありますように感じますので、是非お願いしたいものです。

「良い人生の締めくくり方」というテーマは是非とも採り上げてみたいのですが、まさにさまざまな哲学的・宗教的観点が、非常にデリケート

なテーマでもあります。記事として紹介する方法を現在模索しております。

・各県や市町村で取り組んでいる目玉事業などを紹介していただくと参考になります。その意気込みや姿勢が私たちの士気を高めてくれそうです。

今後、「Career」や「Person」の記事を通して紹介できるかもしれません。

・メンタルヘルス疾患対策、セルフケア

メンタルヘルスについては、次号より「Health」にて杉田峰康先生による連載記事を掲載することになっていきます。ご期待ください。

・特定健診が始まり、メタボリックな者は当然特定保健指導の対象。六〇歳前にあつて、運動で体重を減少させる努力をするこびざや肩に負担がかかり痛みを伴うことがあります。メタボリック対策として、年代にあつた運動の仕方を取り上げてください。(食事については参考となっております)(同意見他一名)

次号より、再び手軽な運動を「Health」のコーナーで紹介してゆきます。ご希望のような年代別の運動指南とは異なるかもしれませんが、参考にしてみてください。

・ワークライフバランスがいらわれています。家族内で工夫している例、趣味など余暇でリフレッシュしている例など、ワークライフバランスを実現している方の体験談を読みたいです。

検討いたします。

・社債、外国債券、仕組み債券などの債券関係の解説

今回の「Economy」目黒先生の記事は債券投資がテーマでしたが、如何でしたでしょうか。債券は株式に比べて複雑ですが、初心者にも分かりやすい解説になっているかと思えます。

・「こんな金融商品に投資すると危ない。」投資したくなかったときの注意点をあげてください。ハイリスクの商品とローリスクの商品の一例など

一般的な金融商品については、今年度の目黒先生の記事をはじめ過去に様々な紹介をしており、その中でリスクについても言及されています。それとは別に、投資詐欺などの悪質商法に対する注意喚起の意味で特集を組むべきなのかもしれません。

・六月から七月は、各自治体で職員健康診断を行っておられると思います。診断結果のデータ（YGP TやDHLなどの数値）の意味と数値が悪い場合に生活で気をつけるべき点などを取り上げていただけないでしょうか。

検討いたします。



## その他ご意見

・食事バランスガイドを使用してPennyで初めて主菜の摂り方を学びました。朝食での大好きな「納豆十生卵」があまり好ましくないのを知り、少しガツカリしています。これを踏まえて、摂り方を工夫していければいいのだなと今は思っています。読んで良かったです。Pennyも期待しています。

今号で連載は終了ですが、皆様の食生活を見直すきっかけとなればと思います。

・老後を考える年齢が近づくにつれ、自分が何をしたいか自問自答する日々の中で、皆さんの前向きな生き方に叱咤激励されています。

ありがとうございます。本誌が皆様を元気づける一助となれば、私たちにとつても励みになります。

・(前略) 貴誌は幅広い年齢層をターゲットとなさっているようですが、それが強みであると同時に、若年層への訴求に当たったのネックにもなっているような気が致します。例えば、別冊等で「ALPS young」「ALPS around 40」のように、年齢セグメント別に編集したものを出版されると、面白いかもしれないと思いました。

ご指摘の点はごもっともですが、隔月、年六回発行の限られた予算の中では早期の実現は難しそうです。

・イベント企画の記事、とても勉強になりました。仕事や家庭の領域で考えるだけでなく、違う視点や世代の考えやニーズをつかむアンテナを持つことが大切だと感じました。(同意見他二名)

ありがとうございます。今号で牟田先生の連載記事は完結です。集客のコツという全く新しい観点からの企画でしたが、お役に立てる内容で幸いです。

・「三〇歳代のライフプラン〜住宅取得について考えよう〜」は私が三〇代なので、役立ちました。

ありがとうございます。住宅について考えを深めるのに役立てば幸いです。今後、四〇歳代、五〇歳代、六〇歳代と連載は進んでいきますので各年代の方々が身近に感じてもらえれば幸いです。

・八八号も盛り沢山のテーマを取り上げていただいてとても参考とするところが多かったと思います。特に「高齢期の問題」はごく、身近な問題として覚悟するところですので、今後の連載を心強く思います。次回も楽しみにいたします。

ありがとうございます。八八号から連載中の「事例で考える心と人生の問題」では、数多くの事例を通じて、家族内で発生しうる問題について具体的な解決方法を提示しています。

もちろん提示された解決策がそのまま他のケースで使えるとは限りませんが、少なくとも問題の捉え方は参考になるかと思われます。今後もご期待ください。

・ユネスコ活動の記事、大変興味深く読ませていただきました。平和への熱き思いと地域への愛情が強く伝わってきました。平泉の世界遺産への登録、大変厳しい状況とは思いますが、真の国家的事業としてがんばっていただきたいと思います。(後略)

・巽良雄氏の「石の上にも三年の」が下水道事業に終身現役」の親しみやすい文章に好感。また、専門的見地からの「タマちゃんが好き水質」の考察にも感銘を受けました。

ありがとうございます。今後も、さまざまな地方公務員OBの方の活動を紹介できればと思います。

